

元健だより

NEWS FROM ROKEN

第53号



明るい笑顔、大事にしたいです。

CONTENTS

- P2 施設長 新年ご挨拶
- P2・3 ろうけんスケッチ
- P4 リハビリだより
人事異動

【発行】
公立八鹿病院 老人保健施設

施設長 富 勝治 令和4年1月発行
兵庫県養父市八鹿町下網場 413
TEL(079)662-2355 FAX(079)662-2388

< 新年のご挨拶 >

謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和4年 元旦



公立八鹿病院老人保健施設
施設長 富 勝治

I

11月15日「やぶ医者大賞表彰式」

本年もよろしくお願い申し上げます。
コロナ感染症におびえながら新年を迎えました。利用者の皆様におかれましては、ご家族様と共にマスク着用等の予防対策を続けて頂きますよう、お願い申し上げます。
私は、旧年暮れには2つの催しで養父市の歴史と文化の素晴らしさを実感する事が出来ました（共にやぶ市民交流広場にて）。

やぶ医者大賞は、国内で地域医療に尽力する若い医師を選び、その功績を養父市から全国に発信する事を目的として市が主催する事業です。この賞は、①数医者の語源が「江戸時代、養父にいた名医」に由来する事を再認識し、②江戸、明治時代に養父市八鹿町宿南の私塾「青谿書院」で人材育成に功績を残した池田草庵にちなみ、つくられました。
今回は、北海道松前病院・八木田病院長と滋賀県浅井東診療所松井院長が受賞されました。

II

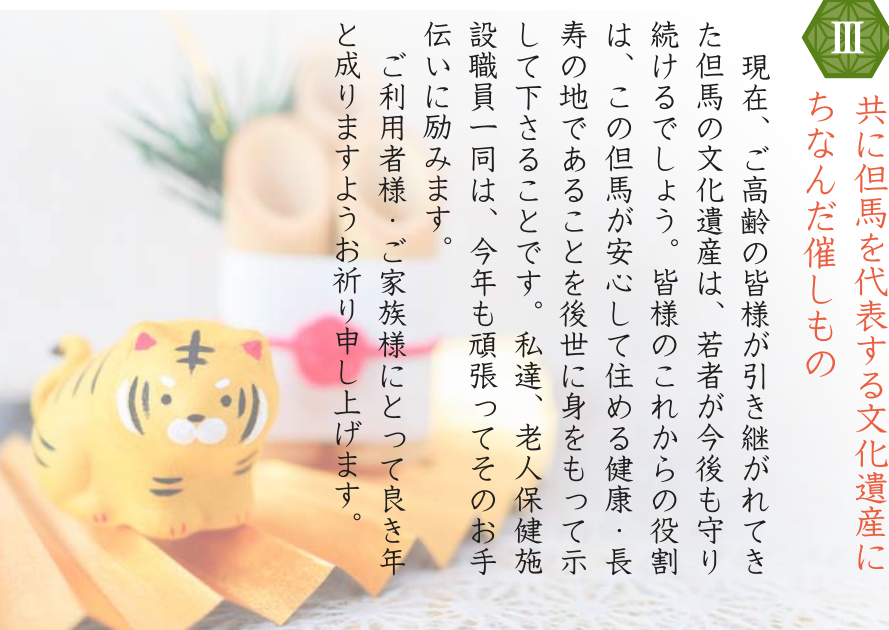
12月12日 葛畑農村歌舞伎伝承会主催 「せきのみや子ども歌舞伎公演」

出演は養父市・香美町・豊岡市の5人の役者さん達（小学5年、中学2年）。
入場制限下（1人で2席利用）、彼らの熱演は満席の観客に伝統芸能の素晴らしさを堪能させてくれました。舞台での口上や物語にも増して、日頃の厳しい稽古に耐えた苦勞に想いを馳せて涙したのは、私だけでは無い様です。

III

共に但馬を代表する文化遺産に ちなんだ催しもの

現在、ご高齢の皆様が引き継がれてきた但馬の文化遺産は、若者が今後も守り続けるでしょう。皆様のこれからの役割は、この但馬が安心して住める健康・長寿の地であることを後世に身をもって示して下さる事です。私達、老人保健施設職員一同は、今年も頑張つてそのお手伝いに励みます。
ご利用者様・ご家族様にとって良き年と成りますようお祈り申し上げます。



入所フロアの風景



準備体操で腕を伸ばしてイチ・ニ・サン！



レクリエーション 今日風船バレー。

食事のようす

食卓には感染対策のパーティションがあります。



リハビリ

個別リハのひとコマ・・・

8月 盆踊り

楽しい行事満載!

るうけん ヌケツキ

-夏・秋・冬-



音頭に合わせて
太鼓の達人!

ドンドンドンド



射的も楽しみました。

10月

運動会

赤組頑張れ～



戦正選
い々堂々
ます々々
すす!

芋ほり



白組負けるな～



大きなサツマイモが
とれました

11月 お茶会

いつもと違う雰囲気でお菓子と
お抹茶を嗜んでいただきました。



12月

クリスマス会

テイクア

餅つき



職員によるハンドベル演奏



杵でついたお餅を
手際よく鏡餅に整
えます。慣れてま
すねえ～

「リハ会議」開催しています！

作業療法士 野元 麻里

当施設の通所リハビリテーションでは、リハビリテーションマネジメントの一環として、リハビリテーション会議（以下リハ会議）を開催しています。要介護認定を受けている方で、利用者様・ご家族、ケアマネジャーより同意が得られた方を対象としています。

リハ会議での内容とは

リハ会議では、セラピストが中心となつて、利用者様・ご家族、ケアマネジャー、他サービス事業所に参加していただき、話し合いを行います。リハビリテーション（以下リハビリ）の目標を確認し、現状や今後の課題を報告し合い、目標の見直し・適宜リハビリ内容の検討を行います。そして、他職種と目標を共有し、目標達成のための連携・支援方法の確認を行っています。

コロナ禍でのリハ会議

現在は感染症対策により、ご家族、ケア

マネジャーや他事業所は、直接リハ会議に参加していただけません。そのため、事前にケアマネジャーや他事業所から情報収集し、ご家族からは適宜電話で生活の様子や目標について確認を行い、内容の情報共有を行っています。

リハ会議には医師も参加しています

令和3年7月からは、リハ会議に施設医も参加しています。医師が参加することで、疾患や障害に対しての説明や助言があり、利用者さんからは「先生とゆっくり話せてよかった」「先生に病気のことを教えてもらえてよく分かった」と、良い意見が聞かれています。私たちセラピストも利用者様とゆくり話す機会がもてることで、リハビリ目標が確認しやすくなり、リハビリ内容を検討するきっかけとなっています。

今後の感染状況に応じてですが、必要な時にはご自宅でのリハ会議も開催予定

です。ご自宅に訪問することで、手すりの設置や福祉用具など、具体的な相談や検討ができます。また、ご家族による介助方法など、不安なことがあれば、検討やアドバイスをおこないます。セラピストが関わることで、ご自宅での生活が少しでもしやすくなるように援助していきたいと思っています。

リハ会議を開催するにあたって、リハビリテーションマネジメント加算の算定をしております。リハ会議の頻度としては、算定開始後6か月以内は1か月ごと、それ以降は3か月ごとで開催しています。

リハ会議以外でも、生活の中で困った事や不安に思う事があれば、気軽にお声掛けください。



リハ会議の様子

人事異動のお知らせ

◆よろしくお願ひします

10/1付 介護職員 木村 正